

科目名 (英)	衛生管理 I Hygiene	必修 選択	必須	年次	1年	担当教員	氏家由美
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	水曜日1～4限目
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
国家試験の科目であるが為の知識の取得ではなく美容師として、人が集まる所で働くものとして衛生ということに心配りし、快適な空間を提供する、その知識が身につくよう講義をします。難しい科目ではありますが、まとめのプリントなどを用いてわかりやすい講義になるように致します。また、美容師やヘアメイクの実務経験の話なども織り交ぜながら楽しく講義が出来たらと思います。							
【授業を通じての到達目標】							
最終的には国家試験合格が最終目標ですが、それにとどまらず美容師法第1条「美容師は美容師の業務が適正に行われることで公衆衛生の向上に資すること」とされていることを実践できる美容師になるための知識を身につけていきます。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
日本理美容教育センター発行「衛生管理」教科書&各種プリント							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	講師自己紹介等及びオリエンテーション☆この科目を学習する意義、授業の進め方などについて						1点
2	☆公衆衛生の概論と歴史☆公衆衛生とは何か、それに至るまでの歴史上の人物の構成など						1点
3	☆美容師と公衆衛生、保健所について☆美容師と保健所との関わり、保健所の業務など						2点
4	☆母子保健と成人保健①生まれてくる子供と母親についての統計的数値&生活習慣病など						2点
5	☆成人保健②☆生活習慣病についての具体的な例や統計的数値について						2点
6	☆老人保健と福祉、精神保健☆高齢化社会における保険制度や心の病について						1点
7	☆公衆衛生 前期中間試験☆第1～6回までの知識の確認及びフィードバック						20点
8	☆環境衛生の目的と意義☆空気と健康について具体的な成分と数値、人体への影響など						2点
9	☆温度、湿度、気流と健康☆温度や湿度、気流と我々との関わりについて						1点
10	☆衣服と住居の衛生☆衣服の役割や意義、窓や照明、冷暖房の役割について						2点
11	☆上下水道と廃棄物☆水道水や使用後の水の処理システムや数値、ゴミやし尿の処理など						1点
12	☆衛生害虫とネズミ、環境保全☆衛生害虫やネズミによる影響、美容師としての環境保全対策						1点
13	☆美容所における衛生管理要領☆美容師の働く環境、お客様を迎い入れる環境の管理要領						2点
14	☆前期期末試験☆第1～13回までの知識の確認						60点
15	☆期末試験のフィードバック☆解答解説及び誤文訂正による総復習						2点
【特記事項】毎回、必ず名札をつけること。また、中間試験や期末試験時には学生証も持参すること。まとめプリントをファイリングするものを用意していただきますが、そのつどお伝え致します。				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容保健 I Health for Beauty I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大須賀範子
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	火曜日 1~4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
学位を取得している担当教員は、母校では6年間、美容専門学校では2013年から、講義を担当。教科書の内容をより理解できるようにアクティブ ラーニングを取り入れている。美容保健を学ぶことにより 人体の各名称や特徴などを理解することは、他の教科でその知識を生かすこともできる。また、将来、美容師としての知識の信頼につながり、技術の習得や向上に役立てることができ、有能な美容師として活躍の場を広げることができる。							
【授業を通じての最終目標】							
国家試験に合格し、国家資格保持者として自己管理に応用するほか 第三者に説明ができるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
教科書(保健)-日本理容美容教育センター発行							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	第1章 体表解剖 (人体各部の名称、目とその周囲について)						
2	第1章 体表解剖 (耳 鼻 口とその周囲について プロポーションについて) 小テスト						小テスト 2点
3	第2章 骨格器系 (骨の種類と構造 その働きについて) 小テスト						小テスト 2点
4	第2章 骨格器系 (骨の連結とその働きについて 上肢骨、下肢骨) 小テスト						小テスト 2点
5	第2章 骨格器系 (頭蓋とその働きについて 脊柱 胸郭) 小テスト						小テスト 2点
6	第1章と第2章の総復習 練習問題						
7	中間テスト						20点
8	第3章筋系(筋の種類とその特徴とその働きについて 頸郭の筋)						
9	第3章筋系(頭部の筋とその働きについて 表情筋について) 小テスト						小テスト 2点
10	第3章骨格器系(上肢と下肢の筋 体幹の筋 その働きについて) 小テスト						小テスト 2点
11	第4章 神経系 (神経系の成り立ち 神経細胞 脊髄) 小テスト						小テスト 2点
12	第4章 神経系 (中推移神経 脳とその働きについて) 小テスト						小テスト 2点
13	第4章 神経系 (末梢神経について 体性神経 自律神経) 小テスト						小テスト 2点
14	第1章 から第4章まで総復習 小テスト 練習問題						小テスト 2点
15	定期試験						60点
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容技術理論 Technological theory	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	柴野 宏司
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	水曜日 1～4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サロン実務30年、化粧品メーカー研究所での製品開発経験を持つ担当教員が、アクティブラーニングを取り入れた授業を行い、正確な美容技術を身に付けるために必要な、美容理論を理解する。							
【授業を通じての到達目標】							
正確で安定した美容技術を行ううえで必要となる美容技術の理論を知る。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
美容技術理論1							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 授業オリエンテーション、美容技術の作業姿勢 【到達目標】 美容技術理論を学ぶ価値を知る			9	【授業単元】 パーマネットウェーブ技術の流れ 【到達目標】 パーマネットウェーブの理論を知る		
2	【授業単元】 美容用具の種類と手入れ法 【到達目標】 美容用具の目的別使用法を知る			10	【授業単元】 ヘアカーリング 【到達目標】 ヘアセッティングの種類と効果を知る		
3	【授業単元】 シャンプーングの実際とシャンプー剤の成分 【到達目標】 シャンプーングの概要を知る			11	【授業単元】 ヘアウェービング、その他のセッティング技術 【到達目標】 ヘアセッティングの種類と効果を知る		
4	【授業単元】 リンス・コンディショナー・トリートメント剤の成分 【到達目標】 リンス・コンディショナー・トリートメント剤の概要を知る			12	【授業単元】 ヘアカラーの種類、染毛のメカニズム 【到達目標】 ヘアカラーリングの種類と効果を知る		
5	【授業単元】 ヘアカットイングの基礎理論、シザーズによるカット技法 【到達目標】 ヘアカットイングの目的と技法の特徴を知る			13	【授業単元】 色の基本、謔妄技術の実際 【到達目標】 ヘアカラーリングの種類と効果を知る		
6	【授業単元】 レザーによるカット技法 【到達目標】 ヘアカットイングの目的と技法の特徴を知る			14	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 正解率60%以上		
7	【授業単元】 中間試験 【到達目標】 正答率60%以上			15	【授業単元】 美容技術理論1の教科書全般の振り返り 【到達目標】 今までの学びを振り返り、理解を深める。		
8	【授業単元】 パーマ剤の分類とはたらき 【到達目標】 パーマネットウェーブの理論を知る			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	運営管理 Operating administrtion	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高橋由香
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	火曜日1～4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
顧客や社会のために、美容師としての視野を広げ、社会人としての責任を理解する。 実生活や実務に基づき、教科書を分かりやすく説明する。 そして国家試験で満点を取るための価値ある授業にする。							
【授業を通じての到達目標】							
社会人としての責任を理解し実行できる。国家試験に合格する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
運営管理							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	本科目の説明。経営とは・経営者とは何か。経営が難しい理由とは何かを理解する。						小テスト 2点
2	経営資源と経営計画、経営戦略を知る。						小テスト 2点
3	業界の概要、競争の変化を知る。						小テスト 2点
4	資金管理の重要性、会計の考え方、収支と損益とは何かを理解する。						小テスト 2点
5	人という資源、人の能力を高める方法を知る。						小テスト 2点
6	権利とは何かを理解する。理容・美容の仕事と健康について知る。理容業・美容業に特徴的な健康課題を理						
7	中間試験。 試験終了後、社会人と学生の違いについて考える。						中間試験 20点
8	テスト返し、答え合わせ、振り返り。 社会保険(公的年金、医療保険、労働保険)について知る。						小テスト 2点
9	社会保険(公的年金、医療保険、労働保険)について知る。						小テスト 2点
10	顧客が求める価値と実態を知る。						小テスト 2点
11	理容業・美容業のマーケティングを知る。 マーケティングミックスの要因(短期的要因、長期的要因)を知る。						小テスト 2点
12	接客におけるトラブルと対応、接客で発生が予想される問題を知る。						小テスト 2点
13	接客の実践(店内環境、受付、提案・質問、説明・調整、謝罪)						
14	定期試験						定期試験 60点
15	テスト返し、振り返り。						
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容実習 サロンワーク&シャンプー Beauty Practice	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	池田・八谷・西島・徳山・宮本・森口・高野
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	火・水・木・金曜日 1~4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
学校講師6年目、現在もサロンに立ちサロンワークをし、学生に今のサロンのリアルな現場の仕事を教える。 アシスタントのヘルプ術、スタイリストになるための一からの基礎的な受け付け、シャンプー、ブローを柱とし、細かく学べる。 クラスをABC、3チームに分け少人数で各分野の講師に学べる。							
【授業を通じての到達目標】							
1年間サロン&シャンプーの授業を終え、サロン実習に行ってもすぐ戦力になるよう、シャンプーはもちろんドライ、ブロー、スタイリング、受付の対応、店内の誘導、アシスタントのヘルプ業務ができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	美容師とは何か、サロンで働くための動きを学ぶ						
2	サロンの朝そうじ、準備、片付けの基礎を知る						
3	「いらっしゃいませ」～セット面までの誘導、動きを学ぶ					小テスト 4点	
4	荷物の預かり方、シャンプー台の使い方、ドライの水分量を学ぶ					小テスト 3点・3点	
5	予約票のチェックポイント、ブレーンリンスの流れ、ドライヤーの風の使い方を学ぶ						
6	バックシャンプーの流れ、サイドシャンプーマニュアル、ハンドドライ～ブロー学ぶ						
7	入店～退店までの接客、サイドシャンプー泡立てのポイント、ハンドブローの手つきを学ぶ						
8	接客をしながらの動き、サイドシャンプーの泡の質、ブラシブローの習得					中間テスト 20点	
9	バックシャンプーのマニュアル確認、ブラシブロータイム練習学ぶ						
10	カウンセリング～ドライ、ブローセットまでの流れを学ぶ						
11	2人同時に仕上げる動き、コミュニケーションの取り方						
12	役に分かれて営業					小テスト 3点・4点・3点	
13	スチューデントサロンopen					定期テスト 40点・10点・10点	
14	トリートメント塗布、乳化、パーマ早巻きヘルプ、人頭ダブルドライ学ぶ						
15	トリートメント塗布、乳化、パーマ早巻きヘルプ、人頭ダブルドライ学ぶ						
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容実習 サロンワーク&シャンプー Beauty Practice	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	池田・八谷・西島・徳山・宮本・森口・高野
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	火・水・木・金曜日 1~4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
学校講師6年目、現在もサロンに立ちサロンワークをし、学生に今のサロンのリアルな現場の仕事を教える。 アシスタントのヘルプ術、スタイリストになるための一からの基礎的な受け付け、シャンプー、ブローを柱とし、細かく学べる。 クラスをABC、3チームに分け少人数で各分野の講師に学べる。							
【授業を通じての到達目標】							
1年間サロン&シャンプーの授業を終え、サロン実習に行ってもすぐ戦力になるよう、シャンプーはもちろんドライ、ブロー、スタイリング、受付の対応、店内の誘導、アシスタントのヘルプ業務ができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	美容師とは何か、サロンで働くための動きを学ぶ						
2	サロンの朝そうじ、準備、片付けの基礎を知る						
3	「いらっしゃいませ」～セット面までの誘導、動きを学ぶ					小テスト 4点	
4	荷物の預かり方、シャンプー台の使い方、ドライの水分量を学ぶ					小テスト 3点・3点	
5	予約票のチェックポイント、ブレーンリンスの流れ、ドライヤーの風の使い方を学ぶ						
6	バックシャンプーの流れ、サイドシャンプーマニュアル、ハンドドライ～ブロー学ぶ						
7	入店～退店までの接客、サイドシャンプー泡立てのポイント、ハンドブローの手つきを学ぶ						
8	接客をしながらの動き、サイドシャンプーの泡の質、ブラシブローの習得					中間テスト 20点	
9	バックシャンプーのマニュアル確認、ブラシブロータイム練習学ぶ						
10	カウンセリング～ドライ、ブローセットまでの流れを学ぶ						
11	2人同時に仕上げる動き、コミュニケーションの取り方						
12	役に分かれて営業					小テスト 3点・4点・3点	
13	スチューデントサロンopen					定期テスト 40点・10点・10点	
14	トリートメント塗布、乳化、パーマ早巻きヘルプ、人頭ダブルドライ学ぶ						
15	トリートメント塗布、乳化、パーマ早巻きヘルプ、人頭ダブルドライ学ぶ						
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容実習 I (カット&カラー) Beauty Practice I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	横田・山崎・長塚・佐々木
学科・コース		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	木・金曜日 1~4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
日々サロンワークに携わる講師が教える。 半年間の授業を通し、ワンレングスカット・グラデーションカット・ファッションカラーの基礎知識、応用技術を習得する。							
【授業を通じての到達目標】							
ワンレングスカット・グラデーションカット・ファッションカラーの基礎知識、応用技術を習得し、ウィッグで再現出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					WIG	テスト配点
1	ワンレングスカット の基礎知識と基本動作					A(黒)	
2	床平行ワンレングスカット の復習					A(黒)	
3	床平行ワンレングスカット の技術					A(黒)	小テスト (5点)
4	ファッションカラー(バージン毛) の練習					A(黒)	
5	床平行ワンレングスカット の技術					A(黒)	小テスト (5点)
6	中間試験					B(黒)	中間 (20点)
7	前上がりワンレングスカット (デザインカット)					A(黒)	
8	ファッションカラー(バージン毛) をカラー剤を使って染める					A(黒)	
9	ベーシックグラデーションカット の基礎知識					C(茶)	
10	ベーシックグラデーションカット の技術					C(茶)	小テスト (5点)
11	レディースマッシュグラデーションカット (デザインカット)					C(茶)	
12	ファッションカラー (ブリーチカラー)					C(茶)	
13	ベーシックグラデーションカット の技術					D(茶)	小テスト (5点)
14	定期試験					B(黒)	定期 (60点)
15	メンズグラデーションカット (デザインカット)					C(茶)	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	美容実習 I (ワインディング) Beauty Practice I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	張・井坂・西島
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	月・金曜日 1~4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サロンワーク プライダル 撮影の仕事を経験し基礎技術の重要性を知る。 間違いない基礎技術をゆっくり丁寧に学びワインディングの技術を向上させる。							
ワインディングの技術を覚えて、全頭を巻けるようにする。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	ワインディング授業の準備を覚える。 ウィッグの取り扱いを覚える。						1点
2	ブロッキングを覚える。 正確なコームの使い方を覚える。						1点
3	ブロッキングとセンター下巻き9本を巻く。 下巻きの巻き方を覚える。						1点
4	ブロッキングとセンター下巻き9本、右側バックサイド7本を巻く。 正しい下巻きを覚える。						1点
5	ブロッキングとセンターと左側下巻き。サイドも巻く。 正確な姿勢を覚える。						1点
6	ブロッキングから全頭の下巻きを仕上げる。						1点
7	ブロッキングから全頭の下巻きを制限時間内に仕上げる。						20点
8	ブロッキングタイムアップ。 センター上巻き6本を正確に巻く。上巻きの巻き方を覚える。						2点
9	フロント～右側9本の上巻きを覚える。 正しい姿勢を覚えて巻く。						2点
10	左側6本の上巻きを覚える。 上巻き全頭仕上げる。						2点
11	ブロッキングから全頭52本を制限時間内に巻く。 配列を正確に覚える。						2点
12	ブロッキングから全頭を巻く。 下巻きの強化。						2点
13	ブロッキングから全頭を巻く。 姿勢と巻き方を確認して修正する。						2点
14	衛生を覚える。ブロッキングから全頭を巻く。 正確な巻き方、配列を覚えられているかの確認。						60点
15	ブロッキングから全頭を巻く。 正確に巻いているかの確認。						2点
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道 Careers Seminar	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	岩本・神谷・佐藤・尾崎・野村・大迫
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1	開講区分	前期
						曜日・時間	1・4組(月)2・3限/2・3組(水)2・3限
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師現場経験のある教員が、自己分析、グループワーク、ショーの見学を通して、職業観を養う。 現場実習や就職活動時に必要な履歴書の作成(学歴、自己PR)の仕方を学ぶ							
【授業を通じての到達目標】							
自己分析をし、目標設定をすることができる。情報収集力を高め、情報を理解することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
資料や教材は授業で配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	入学式の振り返り・目的目標を設定する						
2	クラスの仲間への言葉の花束						
3	ベルリンピックに関しての話し合いをする						
4	コアターゲットの違うサロンを調べる						
5	お客様体験に向けて、施術を受けるマナー、施術者への質問を準備する						
6	ヘアショー、お客様体験の振り返り 自分の目指す道を明確化する					小テスト 10点	
7	コミュニケーション力・対話を学ぶ						
8	中間テストを通じ、学内の基本ルールを再確認する					中間テスト 20点	
9	理想の美容師像を描き、必要とするスキルを理解する						
10	就職活動に向けての諸対応を学ぶ						
11	就職活動について理解を深める						
12	夏休みに向けて、社会的マナーを確認し、後期に向けての目標を決める					小テスト 10点	
13	履歴書の書き方を学ぶ(学歴・賞罰)						
14	履歴書の書き方を学ぶ(フリースペース)						
15	前期を振り返り、後期の目標達成の為の逆算行動を考える					定期テスト 60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			

科目名 (英)	ヘアメイクアップ Hair Make up Technique	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大谷・長島・伊藤
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	月・木曜日 1~4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
10年以上美容師やヘアメイク経験のある講師陣が、撮影やブライダルなどの実際のヘアメイクの現場での経験を活かし、美容師になった時の作品撮りや撮影現場で活かせるような技術を取得していく。 ヘアアレンジではコテやピンニング、道具の使い方、アレンジの技術を基本から学び、いろいろなヘアアレンジが出来るようにしていく。 メイクでは道具の種類や扱い方、メイクアップの1つ1つの技術を学び、相手に似合わせたメイクアップができるような技術を取得していく。							
【授業を通じての到達目標】							
ヘアアレンジではコテの巻き方ピンニング、ブラシなど道具を使いこなし、編みこみやツイスト・波ウェーブなどアレンジの種類を覚え、いろいろなアレンジが出来るようにする。 メイクでは道具の扱い方を覚え、ベースメイクやアイメイク・骨格に合わせたチークの入れ方・リップメイクなどナチュラルメイクの基本をマスターし、アレンジや服に合わせてメイクができるようにする。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
《メイク》メイク道具一式 タオル3枚 小さいビニール袋 タッカー ティッシュ コットン 綿棒 《ヘア》ウィッグ クランプ タオル コテ ストレートアイロン コーム ブラシ類 タッカー ヒン・コム類							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【ヘア】ヘアアレンジ道具のセッティングの仕方、コテ巻きの種類・巻き方、ピンニングの仕方、コテ巻きアレンジ					1	
2	【メイク】メイク道具のセッティングの仕方、ベースメイクの基礎知識・やり方、アイシャドーの基本					1	
3	【ヘア】編込み・ツイストの基礎、編込み・ツイストアレンジのいろいろ					1	
4	【メイク】ベースメイク・アイシャドー(グラデーション)の復習、アイラインの入れ方、ビューラー上げ・マスカラのつけ方、					1	
5	【ヘア】一束・逆毛の基礎、一束・逆毛アレンジのいろいろ					1	
6	【メイク】アイブロウの理論と描き方					1	
7	中間試験(編込みハーフアップ)					40	
8	【ヘア】波ウェーブ・くるりんぱギブソントックのやり方、波ウェーブ・くるりんぱ・ギブソントックアレンジのいろいろ					2	
9	【メイク】リップ・チークの理論と描き方					2	
10	【ヘア】原宿系ファッションに合わせたヘアアレンジ					2	
11	【メイク】原宿系ファッションに合わせたメイク					2	
12	【ヘア】モード系ヘアアレンジ					2	
13	【メイク】モード系のメイク					2	
14	【メイク】期末試験の練習					2	
15	期末試験(フルメイク40分)					40	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容総合技術 I Beauty Politekhнизм I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	長谷川・神谷・安田
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	月・木曜日 1~4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
学生たちの持つイメージをスタイリングなどで表現し具現化できるように、美容師及び美容学校で長く実務経験を持つ教員が、実習を通じて授業を行い、技術をアピールする基礎力を身につけることができる。							
【授業を通じての到達目標】							
アイロン技術、スタイリングの技術、再現性を習得。 作品撮りの基礎手順・技術を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ウィッグ(ピンク台座)、クランプ、ドライヤー、カールアイロン、ストレートアイロン シザーケース、リングコーム、ダックカール(5本以上)、タオル2枚、延長コード 雑巾、エプロン、筆記用具、名札、油性マジック、メモ帳							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	ハンドドライ、カールアイロン技術(フォワード・リバース・巻きつけ)の体得						
2	ハンドドライ、カールアイロン技術(フォワード・リバース・巻きつけ)の復習 カールアイロン技術(スパイラル・毛先逃し巻き)体得						
3	カールアイロン技術(フォワード・リバース・スパイラル・毛先逃し巻き)テスト ストレートアイロン技術の体得						小テスト4点
4	ウィッグのカット カールアイロン技術(平巻きく内・外>)の体得						
5	カールアイロン技術(平巻きく内・外>)のテスト ストレートアイロンによる波ウェーブの体得、ストレートの復習						小テスト4点
6	カールアイロン技術(波ウェーブ)の体得 カールアイロン、ストレートアイロンを使用し再現する技術を身につける						
7	カールアイロン、ストレートアイロンを使用し再現する技術を身につける ストレートアイロン技術の復習						中間試験20点
8	作品撮りの基礎工程知識 チームでコンセプト、テーマを決める						
9	作品撮り本番						
10	作品撮り(外部講師講習)						小テスト4点
11	動画作成の基礎技術(外部講師講習)						
12	動画作成練習						
13	動画作成本番						
14	作品撮り、動画作成						
15	作品撮り、動画作成						定期試験60点
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	関係法規 The related law annd reguration	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高橋由香
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	火曜日 1～4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師としての業務を遂行していくために、ルールと知識を学び、自らの夢に向かう主体性を身につける。 実生活や実務に基づき、教科書を分かりやすく説明する。 そして国家試験で満点を取るための価値ある授業にする。							
【授業を通じての到達目標】							
美容師として公衆衛生を遵守する。国家試験に合格する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
関係法規・制度、法令集							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	本科目の説明。社会生活における法の役割を知る。					小テスト 2点	
2	法の形式、種類を覚える。					小テスト 2点	
3	衛生法規の概要、衛生行政の意義と歴史、衛生法規と衛生行政の分類を知る。					小テスト 2点	
4	美容師法の目的、用語の定義を覚える。					小テスト 2点	
5	美容師試験、美容師養成施設、免許の申請と登録、欠格条件を知る。					小テスト 2点	
6	美容師の義務、衛生措置、管理美容師とは何かを知る。						
7	中間試験。 試験終了後、美容師免許の変更・紛失などの手続きを理解する。					中間試験 20点	
8	美容所の開設届、検査確認、美容所の継承とは何かを理解する。					小テスト 2点	
9	開設者の衛生措置、立入検査と検査確認の違い、美容所以外での業務について理解する。					小テスト 2点	
10	行政処分と罰則(業務停止処分、免許取消処分、再免許、美容所の閉鎖命令、30万円以下の罰金)を知る					小テスト 2点	
11	美容業の運営に関する法律を知る。					小テスト 2点	
12	美容業の衛生に関する法律を知る。					小テスト 2点	
13	美容業の消費者保護に関する法律を知る。						
14	定期試験					定期試験 60点	
15	テスト返し、振り返り。						
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	衛生管理 II Hygiene II	必修 選択	必須	年次	1年	担当教員	氏家由美
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	水曜日1～4限目
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
国家試験の科目であるが為の知識の取得ではなく美容師として、人が集まる所で働くものとして衛生ということに心配りをし、快適な空間を提供する、その知識が身につくよう講義をします。難しい科目ではありますが、まとめのプリントなどを用いてわかりやすい講義になるように致します。また、美容師やヘアメイクの実務経験の話なども織り交ぜながら楽しく講義が出来たらと思います。							
【授業を通じての到達目標】							
最終的には国家試験合格が最終目標ですが、それにとどまらず美容師法第1条「美容師は美容師の業務が適正に行われることで公衆衛生の向上に資すること」とされていることを実践できる美容師になるための知識を身につけていきます。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
日本理美容教育センター発行「衛生管理」教科書&各種プリント							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	☆感染症の歴史及び分類☆感染症の歴史、法律上や病原体による分類など						1点
2	☆感染症の歴史及び分類☆感染症の歴史、法律上や病原体による分類など						1点
3	☆病原微生物の大きさや構造及び環境、感染症の予防について						2点
4	☆病原微生物の大きさや構造及び環境、感染症の予防について						2点
5	☆呼吸器感染症及び消化器感染症☆疾患名や具体的な症状、潜伏期間などの各論						2点
6	☆呼吸器感染症及び消化器感染症☆疾患名や具体的な症状、潜伏期間などの各論						1点
7	☆公衆衛生 後期中間試験☆第1～6回までの知識の確認及びフィードバック						20点
8	☆血液&接触感染、動物等からの感染症について						2点
9	☆血液&接触感染、動物等からの感染症について						1点
10	☆衛生管理技術☆消毒についての基礎知識						2点
11	☆衛生管理技術☆消毒についての基礎知識						1点
12	☆各種消毒法及び材質による消毒法の選択など						1点
13	☆各種消毒法及び材質による消毒法の選択など						2点
14	☆後期期末試験☆第1～13回までの知識の確認						60点
15	☆期末試験のフィードバック☆解答解説及び誤文訂正による総復習						2点
【特記事項】毎回、必ず名札をつけること。また、中間試験や期末試験時には学生証も持参すること。まとめプリントをファイリングするものを用意していただきますが、そのつどお伝え致します。				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容保健 II Health for Beauty II		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大須賀範子
学科・コース	美容師科		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期
							曜日・時間	火曜日 1~4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)								
学位を取得している担当教員は、母校では6年間、美容専門学校では2013年から、講義を担当。教科書の内容をより理解できるようにアクティブ ラーニングを取り入れている。美容保健を学ぶことにより 人体の各名称や特徴などを理解することは、他の教科でその知識を生かすことができる。また、将来、美容師としての知識の信頼につながり、技術の習得や向上に役立てることができ、有能な美容師としての活躍の場を広げることができる。								
【授業を通じての最終目標】								
国家試験に合格し、国家資格保持者として、自己管理に応用するほか第3者にも説明できるようになる。								
【使用教科書・教材・参考書】					【授業外における学習】			
教科書(保健)-日本理容美容教育センター発行								
回	授 業 概 要						テ ス ト 配 点	
1	第5章 感覚器 (目の構造 視覚 味覚 嗅覚について)							
2	第5章 感覚器 (耳の構造 聴覚 平衡感覚 皮膚感覚について) 小テスト						小テスト 2点	
3	第6章 血液 循環器系 (血液のあらまし 血球の種類とその働きについて) 小テスト						小テスト 2点	
4	第6章 血液 循環器系 (血液循環の仕組み 心臓 血管について) 小テスト						小テスト 2点	
5	第2章 血液 循環器系 (血液の循環経路について) 小テスト						小テスト 2点	
6	第5章と第6章の総復習 小テスト 練習問題						小テスト 2点	
7	中間テスト						20点	
8	第6章 血液 循環器系 (リンパ管係について 第7章 呼吸器系(呼吸器系のあらまし 気道について)							
9	第7章 呼吸器系 (肺の仕組みとその働きについて 呼吸運動) 小テスト						小テスト 2点	
10	第8章 消化器系 (消化器系のあらまし 口腔 唾液腺 食道 について) 小テスト						小テスト 2点	
11	第8章 消化器系 (胃 腸について) 小テスト						小テスト 2点	
12	第8章 消化器系 (消化管の働きについて 消化と物質代謝) 小テスト						小テスト 2点	
13	第5章 から第8章まで総復習 小テスト 練習問題						小テスト 2点	
14	定期試験						60点	
15								
【特記事項】					【評価について】			
					●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
					●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容技術理論 II Technological theory II	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	柴野 宏司
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	水曜日 1~4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サロン実務30年、化粧品メーカー研究所での製品開発経験を持つ担当教員が、アクティブラーニングを取り入れた授業を行い、正確な美容技術を身に付けるために必要な、美容理論を理解する。							
【授業を通じての到達目標】							
正確で安定した美容技術を行ううえで必要となる美容技術の理論を知る。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
美容技術理論1・2 練習問題集プリント							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 エステティック 【到達目標】 フェイシャルケアの手順、注意点を説明できるようになる			9	【授業単元】 美容技術理論序章、1章、2章の振り返り 【到達目標】 序章、1章、2章の国家試験過去問の正解を列挙できる		
2	【授業単元】 エステティック 【到達目標】 フェイシャルマッサージ、フェイシャルパックの注意点を述べるができる			10	【授業単元】 美容技術理論4章、5章の振り返り 【到達目標】 4章、5章の国家試験過去問の正解を列挙できる		
3	【授業単元】 ネイル技術 【到達目標】 ネイル道具の使用目的を述べるができる			11	【授業単元】 美容技術理論6章、7章の振り返り 【到達目標】 6章、7章の国家試験過去問の正解を列挙できる		
4	【授業単元】 メイクアップ 【到達目標】 メイクアップ道具の選び方、スキンケアの方法を述べるができる			12	【授業単元】 美容技術理論8章、9章、10章の振り返り 【到達目標】 8章、9章、10章の国家試験過去問の正解を列挙できる		
5	【授業単元】 メイクアップ 【到達目標】 基本的なメイクアップテクニックを述べるができる			13	【授業単元】 美容技術理論11章、12章の振り返り 【到達目標】 11章、12章の国家試験過去問の正解を列挙できる		
6	【授業単元】 日本髪、着付け 【到達目標】 日本髪の種類と特徴、着物の種類と特徴を述べるができる			14	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 正解率60%以上		
7	【授業単元】 着付け 【到達目標】 着付け技術の注意点を述べるができる			15	【授業単元】 定期試験解答と解説 【到達目標】 今までの学びを振り返り、理解を深める。		
8	【授業単元】 中間試験 【到達目標】 正解率60%以上			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容実習 I (カット&カラー) Beauty Practice I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	横田・山崎・長塚・佐々木
学科・コース		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	後期
						曜日・時間	月・水曜日 1~4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
日々サロンワークに携わる講師が教える。 半年間の授業を通し、レイヤーカット・クロップカット・ファッションカラーの基礎知識、応用技術を習得する。							
【授業を通じての到達目標】							
レイヤーカット・クロップカット・ファッションカラーの基礎知識、応用技術を習得し、ウィッグで再現出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					WIG	テスト配点
1	ベーシックレイヤーカット の基礎知識					E(茶)	
2	ベーシックレイヤーカット の技術					E(茶)	
3	ベーシックレイヤーカット の技術					E(茶)	小テスト (5点)
4	レディースウルフカット (デザインカット)					F(黒)	小テスト (5点)
5	ファッションカラー (ホイルワーク)					F(黒)	
6	ファッションカラー (ホイルワーク)					F(黒)	
7	中間試験					F(黒)	中間 (20点)
8	メンズレイヤーカット (デザインカット)					E(茶)	
9	ベーシッククロップカット の基礎知識					A(黒)	
10	ベーシッククロップカット の技術					B・F(黒)	小テスト (5点)
11	メンズクロップカット (デザインカット)					C(茶)	小テスト (5点)
12	ファッションカラー (デザインカラー)					G(金)	
13	コンテスト風カットスタイル (デザインカット)					G(金)	
14	定期試験					H(金)	定期 (60点)
15	カットコンテストに向けたスタイル練習					D(茶)	
【特記事項】					【評価について】		
					<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 		

科目名 (英)	美容実習Ⅱ(ワインディング) Beauty Practice Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	張・飯野・井坂・赤羽・西島
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	後期
						曜日・時間	火・金曜日 1～4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サロンワークブライダル撮影を経験し、基礎技術の重要性を知る。間違いない基礎技術をゆっくり丁寧に学びワインディングの技術を向上させる。							
<p>国家試験の規定を知る。 正確な巻き方を覚える。 制限時間内に全頭を巻く。忘れ物をしない。</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	巻き方と配列の確認。下巻きの確認。上巻きの導入。						1点
2	巻き方の確認。センター上巻き～下巻き全頭を仕上げる。						1点
3	フロント～右面9本の導入。正しい姿勢で巻く。スライス線を覚える。						1点
4	左面上巻き6本導入。スライス線システム姿勢を覚える。						1点
5	国家試験の規定を覚える。制限時間内に全頭を巻く。						1点
6	構成を覚える。スライス線とステムの確認。						1点
7	衛生の準備から制限時間内に全頭を巻く。正確に巻く。						20点
8	手付きの確認。。センターのタイムアップ。						2点
9	手付きと姿勢の確認。フロント～右面巻き納まり強化。						2点
10	手付きと姿勢の確認。左面巻き納まり強化。						2点
11	全頭正確に巻く。規定での巻き納まり強化。						2点
12	手付きと姿勢の確認。巻き方の修正。						2点
13	全頭のタイムアップ。巻き方の修正。						2点
14	衛生と規定を覚えて制限時間内に全頭を巻く。						60点
15	全頭を制限時間内に巻く。前回の修正。						2点
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容実習 オールウェーブ Beauty Practice	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	山下・井坂・長谷川・田丸
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	後期
						曜日・時間	木・金曜日 1～4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
国家試験実技の授業を20年受持ち、対策や傾向、合格点にもっていく方法、統計を知っている。そして、美容師として、サロンを運営しているので、国家試験の大切さを伝えてあげられる。 美容師国家試験第二課題を合格、終了する。							
オールウェーブセッティング7段構成の理解とウェーブバランスを習得 国家試験を意識した衛生準備 ウェーブ リッジを作る							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
オールウェーブ道具一式、衛生用具一式、ノート、教科書、筆記用具				技術向上に向けての復習			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	オールウェーブ国家試験の説明、机上を覚える ローション塗布、コームの持ち方 使い方を覚える						
2	1段目スカルプチャーカールを覚える 2段目の方向性						
3	リッジを覚える スカルプチャーカール復習						5
4	1段目 2段目を作る スカルプチャーカールのタイムアップ5分 ウェーブ リッジの復習						5
5	3段目スカルプチャーカールを覚える 左側4段、5段目ウェーブを覚える						5
6	左側6段目、7段目のウェーブを覚える カールエリアの確認						5
7	中間テスト 1段目～左側5段目 23分						20
8	1段目～左側5段目まで復習23分						5
9	右側3段、4段のウェーブを覚える 左側タイムアップ						5
10	右側5、6、7、段のウェーブを覚える						5
11	7段目ウェーブの強化 タイムアップ、4段目リフトカールを覚える						5
12	1～4段目リフトカール～7段目ウェーブを作る						
13	5段目リフトカールを覚える 4段目リフトカールの復習						
14	1～4段、5段目リフトカール～7段目ウェーブを作る 30分						
15	定期試験 1～4、5段目リフトカール～7段目ウェーブ30分						60
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道II Careers Seminar II	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	岩本・神谷・佐藤・尾崎・野村・大迫
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1	開講区分	後期
						曜日・時間	1・4組(月)2・3限/2・3組(木)2・3限
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師現場経験のある教員が、自己分析を通じて、現場実習や就職活動時に必要な履歴書の作成(学歴、自己PR)の仕方を学ぶ。 就職活動に向けて、模擬面接を行い、夢の実現のための心構えを持つ。							
【授業を通じての到達目標】							
就職活動に向けて必要なことを学び、行動がスムーズに行えるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
資料や教材は授業で配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	業界研究・職種研究をし、求人情報を知る						
2	履歴書 自己PR作成に向け、自己分析をする						
3	履歴書 自己PR作成に向け、下書きを作成する						
4	履歴書 自己PR文を完成させる					小テスト 10点	
5	模擬面接に向け、自分の回答を考え、まとめる						
6	クラス内面接練習						
7	学内模擬面接					中間テスト 20点	
8	現場実習に向け、サロンを調べる						
9	現場実習用履歴書作成						
10	現場実習用履歴書の完成					小テスト 10点	
11	現場実習のお礼状の書き方を学ぶ						
12	就職活動に向けて、受験先の候補を調べる						
13	コンテスト用コンセプトシートの作成						
14	就職活動に向けて、履歴書の作成						
15	就職活動に向けて、履歴書の完成					定期テスト 60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	美容総合技術Ⅱ Beauty PolitekhнизмⅡ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	桐谷・今井・久保・堤
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	後期
						曜日・時間	月曜日 1~4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
現在ヘアメイクアーティストとして現場などで活躍している講師が担当美容師に必要なヘアメイク技術はもちろん、撮影、ショー、舞台、などシーンに合わせたヘアメイク技術を学ぶ。							
【授業を通じての到達目標】							
アイロン技術、スタイリングの技術、再現性を習得。 メイクの基礎手順・技術、応用を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	シーン別、年代別メイク 60年代						
2	シーン別、年代別メイク 70年代						
3	シーン別、年代別メイク 80年代						小テスト4点
4	シーン別、年代別メイク 90年代						
5	シーン別、年代別メイク 00年代						小テスト4点
6	シーン別、年代別メイク クリエイティブ						
7	シーン別、年代別メイク 応用						中間試験20点
8	シーン別、年代別ヘアアレンジ サロンスタイル						
9	シーン別、年代別ヘアアレンジ 雑誌撮影スタイル						
10	シーン別、年代別ヘアアレンジ ドラマ、映画スタイル						小テスト4点
11	シーン別、年代別ヘアアレンジ SNSスタイル						
12	シーン別、年代別ヘアアレンジ コンテストスタイル						
13	シーン別、年代別ヘアアレンジ ブライダルスタイル						
14	シーン別、年代別ヘアアレンジ ブライダルスタイル						
15	シーン別、年代別ヘアアレンジ 応用						定期試験60点
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	美容総合技術Ⅱ Beauty PolitekhнизмⅡ		必修 選択	必修	年次	1	担当教員
学科・コース	美容師科		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分 後期 曜日・時間 月曜日 1~4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 現在トップサロンでスタイリストとして活躍しているスタイリストに美容師としての技術、知識を学ぶ。							
【授業を通じての到達目標】 流行や最新技術なども含め、即戦力となる技術、知識を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	カット						
2	パーマ						
3	カラー						小テスト4点
4	スタイリング						
5	SNS授業						小テスト4点
6	撮影技術						
7	ロケ						中間試験20点
8	就職講座						
9	就職講座						
10	動画作成						小テスト4点
11	ヘアアレンジ						
12	ヘアショー						
13	就職講座						
14	就職講座						
15	振り返り						定期試験60点
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容総合技術Ⅱ Beauty PolitekhнизмⅡ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	後期
						曜日・時間	月曜日 1~4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
トータルビューティシャン、メイクアップアーティストによる実践的な技術を学ぶ。 まつ毛エクステンション・メイク							
【授業を通じての到達目標】							
最新技術なども含め、即戦力となる技術、知識を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	メイク 道具の説明、使い方を知る						
2	メイク ベースメイク						
3	メイク アイメイク					小テスト4点	
4	メイク クリエイティブアイメイク						
5	メイク クリエイティブアイメイク 応用					小テスト4点	
6	相モデルメイク						
7	相モデルメイク 技術チェック					中間試験20点	
8	相モデルメイク (相モデルチェンジ)						
9	相モデルメイク (相モデルチェンジ)						
10	相モデルメイク (相モデルチェンジ)					小テスト4点	
11	まつエク 道具、手順確認						
12	まつエク ウィッグを使ったデモ、実践						
13	まつエク ウィッグ実践						
14	まつエク ウィッグ実践						
15	まつエク ウィッグ実践					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			